

【資料 4-2】学習指導方法の工夫

(教員アンケート 2012(H24)・2015(H27)・2017(H29) 年度実施)

項目・内容	学部教育			具体例	大学院教育			具体例	全学共通教育			具体例	
	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		
授業形態	少人数授業	6	9	17		11	12	15		5	6	5	
	対話・討論型授業	6	15	16	・グループ討論 (5名程度) ・質の異なる3つの集団を準備 (受講学生の属性やテーマによつて多様な仲間づくり) ・グループワーク、ペアワーク	15	15	18	・グループ討論 (5名程度) ・必ず一人1回の発言を促す ・隣の人とのディスカッション	10	9	13	・予習の徹底による対話型授業 ・グループワーク、ペアワーク
	講義・演習の併用型授業	6	3	7		2	1	4			1	3	
	デモ・実験・現物観察等による体験型授業	5	4	3		3	3	4		6	5	2	
	野外調査・現物調査を組み入れた授業	5	6	10	・現場体験 (インターンシップ)	4	3	5	・現場体験 (インターンシップ)	3	3	7	
授業	質問の多用 (それに対する回答と議論に基づく授業展開)	1	2	4	・事前学習に基づいた質問・意見を講義時に提出させ、その場で回答する		1	2	・事前学習に基づいた質問・意見を講義時に提出させ、その場で回答する	2	2	2	
	プレゼンテーションの活用 (重視)	1	4	3		3	7	4			3	3	
	その他				・初回到授業のテーマと意義を詳細に説明 ・時事問題への言及 ・必ず全員に発言させる ・学生による主体的な課題設定 ・学生の創造的実験の実施 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論				・最新の研究成果や話題を提供 ・時事問題への言及 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論				・初回到授業のテーマと意義を詳細に説明 ・毎回必ず発言させる ・学生による主体的な課題設定 ・野外実習での自由研究 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論
資料・教材等	英語論文・教科書・教材の利用	3	2	1		5	4	2					
	画像・映像・音声資料の活用 (ウェブ資料)	6	4	3		2	2	1		6	9	5	
	講義資料・補助資料の配布	2	4	1			3	1		2	4	1	
	パソコンの活用 (デモ、シミュレーション、演習解答)	1	1	1			3			1		1	
	教科書・教材の作成					2						1	・ビデオ教材の作成とその活用
	その他												・学生のタブレット利用
課題	レポート・小テスト・演習問題 …毎回、複数回、小単元毎 …添削後返却	1	2	2	・事前の資料講読の指示	2		1		3	4	5	
その他	TAの活用	4	8	3		2		1		7		7	
	授業用ウェブサイトの活用 (資料、プログラム、課題)	1	1	1			1	1		2	1	2	
	英語による授業 (対話・討論型等)	1	1			2	3			1	3		
	自律型学習支援システム (CALL) の活用									4	3	2	
	学習支援システム (PandA) の活用						1				1	4	
その他				・Twitterの活用 (授業中の質問・感想の提示・共有) ・卒業論文・研究のテーマが出来るだけ早く決められるような助言				・Twitterの活用 (授業中の質問・感想の提示・共有) ・適切な先行研究を追ってゆけるような助言 ・京大内の他の大学院や他大学の院生、研究者との交流 ・通常の授業の他に月例の発表演習				・講義後にリアクションペーパーを提出させ、次週にフィードバック ・理論的知識の実践的な場での活用を促す ・チーム・ティーチング (複数の教員での丁寧な実技実習の指導) ・実験実習の改善の検討 (国際高等教育院とともに)	